



## 平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成22年7月30日

上場会社名 株式会社アップガレージ 上場取引所 東  
 コード番号 3311 URL http://www.upgarage.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 誠 (TEL) 045 (989) 2345  
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートサービス部長 (氏名) 大塚 康雄  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第1四半期の業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	1,266	4.0	25	160.2	25	225.3	△7	-
22年3月期第1四半期	1,217	7.0	9	△74.7	7	△79.7	4	△74.3

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	△534	27	-	-
22年3月期第1四半期	299	33	-	-

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
23年3月期第1四半期	2,020		714		35.4		54,505	57
22年3月期	1,951		753		38.6		56,389	91

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 714百万円 22年3月期 753百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金								
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計		
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	
22年3月期	-	-	0	00	-	1,500	00	1,500	00
23年3月期	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23年3月期(予想)	-	-	0	00	-	1,500	00	1,500	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無: 無

### 3. 平成23年3月期の業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	2,650	17.1	28	△34.5	23	△45.6	△5	-	△374	25
通期	5,690	15.7	175	17.9	165	13.3	72	△8.9	5,389	22

(注) 当四半期における業績予想の修正有無: 無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	16,990株	22年3月期	16,990株
23年3月期1Q	3,880株	22年3月期	3,630株
23年3月期1Q	13,305株	22年3月期1Q	14,186株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいております。予想にさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績とは異なる場合があります。業績予想の前提となる条件等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】(3)業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
4. 生産、受注及び販売の状況 .....	8

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国の経済は、企業の設備投資、海外の景気回復による輸出、生産活動に持ち直しの兆しが見られるものの、依然として、雇用、所得環境は厳しい状況が続いております。また、近年のデフレ傾向が、小売業界の経営環境に厳しい状況をもたらしております。

このような状況下において、当社の新たな取り組みとして、新品タイヤを消費者に解りやすい価格設定で販売する「東京タイヤ流通センター」、車に対する趣味趣向の強い消費者をターゲットとした「ドリ車パーツ館」を新規出店し、より幅広い年齢層、消費者ニーズへの対応に取り組んでおります。フランチャイズ事業においては、既存フランチャイズ店に対しては、従前の取り組みとして、店舗運営ならびに収益確保の為のノウハウを提供し、新規開発では、未開発エリアへのフランチャイズ店誘致、既存フランチャイジーの多店舗展開の推進を積極的に行っております。

当第1四半期会計期間の店舗数の増減は、「アップガレージ」で1店舗（ドリ車パーツ館）の出店と、「アップガレージホイールズ」で1店舗（東京タイヤ流通センター）の出店がありました。「アップガレージライダーズ」では、フランチャイズ店1店舗の閉店がありました。これらにより、当第1四半期会計期間末の店舗数は、「アップガレージ」72店舗（内フランチャイズ店55店舗）、「アップガレージライダーズ」12店舗（同店11店舗）並びに「アップガレージホイールズ」11店舗（同店7店舗）となり、直営店及びフランチャイズ店の合計店舗数は95店舗となっております。

当第1四半期会計期間末における当社の出店、閉店の状況は以下のとおりです。

	出店		閉店		第1四半期会計期間末店舗数		
	直営店	フランチャイズ店	直営店	フランチャイズ店	直営店	フランチャイズ店	合計
アップガレージ	1店	－	－	－	17店	55店	72店
アップガレージライダーズ	－	－	－	1店	1店	11店	12店
アップガレージホイールズ	1店	－	－	－	4店	7店	11店
合計	2店	－	－	1店	22店	73店	95店

(注) 「東京タイヤ流通センター」は「アップガレージ」に、「ドリ車パーツ館」は「アップガレージホイールズ」に含めております。

以上の結果、当第1四半期会計期間の業績は、売上高1,266,242千円（前年同期比4.0%増）、営業利益25,925千円（前年同期比160.2%増）、経常利益25,606千円（前年同期比225.3%増）となりました。また、特別損失として、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額を34,549千円計上したことにより、四半期純損失7,108千円（前年同期比は四半期純利益4,246千円）となりました。

事業別概況は以下のとおりです。

## (直営事業)

直営事業の売上高は、既存店舗は前年同会計期間を上回る推移をみせております。また、前事業年度に新規出店した店舗の売上高が寄与したことにより、前年同期より42,885千円増加し、1,122,232千円（前年同期比4.0%増）となりました。

## (フランチャイズ事業)

フランチャイズ事業では、フランチャイズ店が、前年同四半期会計期間末に比べ8店舗増加したことにより、フランチャイズ店の売上高は、前年同四半期会計期間比で12.3%増加いたしました。よって、当社ロイヤリティー収入が7,068千円増加し、66,019千円（前年同期比12.0%増）となりました。しかしながら、新規フランチャイズ契約が前年同四半期会計期間より減少したことなどにより、ロイヤリティー以外の収入が減少し77,990千円（前年同期比1.4%減）となりました。結果、フランチャイズ事業の売上高は前年同期より5,939千円増加し、144,010千円（前年同期比4.3%増）となりました。

## （2）財政状態に関する定性的情報

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末の資産の状況は2,020,002千円となり、前事業年度末に比べ68,079千円増加いたしました。これは主に、新規出店に伴う商品の増加63,057千円があったことによるものです。

負債の状況は1,305,434千円となり、前事業年度末に比べ106,880千円増加いたしました。これは主に、短期借入金の増加100,000千円、仕入債務の増加58,853千円があったものの、未払法人税等の減少77,722千円があったことによるものです。

純資産の状況は、714,567千円となり、前事業年度に比べ38,801千円減少いたしました。これは主に、四半期純損失7,108千円、配当に伴う剰余金の取り崩し20,040千円、自己株式の買付11,652千円があったことによるものです。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間の現金及び現金同等物（以下「資金」）は、前事業年度末に比べ112,069千円減少し、298,233千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりとなります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果減少した資金は、95,267千円（前年同四半期は16,651千円の増加）となりました。これは主に、仕入債務の増加59,194千円等による資金の増加要因があったものの、たな卸資産62,954千円及びその他の資産の増加32,449千円等の資金の減少要因によるものです。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は、24,716千円（前年同四半期は58,950千円の減少）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出6,000千円、有形固定資産の取得による支出16,867千円によるものです。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果増加した資金は、7,913千円（前年同四半期は117,941千円の減少）となりました。これは主に、短期借入金の増加100,000千円による資金の増加があったものの、長期借入金返済に伴う支出66,212千円、自己株式取得による支出11,652千円及び配当金の支払12,445千円によるものです。

## （3）業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想につきましては、当会計期間の売上高、収益が、当初計画に対し順調に推移しており、第2四半期以降においても、現時点においては、当初計画のとおり順調に推移すると予想するため、平成22年5月14日に発表いたしました第2四半期累計期間および通期の業績予想の数値から変更はございません。

## 2. その他の情報

## （1）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

## 1. 簡便な会計処理

## 棚卸資産の評価方法

当第1四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

## 2. 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

## （2）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益が1,665千円減少し、税引前四半期純損失が、36,215千円増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は75,737千円であります。

## （3）継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	360,328	466,398
売掛金	260,086	243,925
商品	728,777	665,719
貯蔵品	180	284
前払費用	73,631	43,441
繰延税金資産	14,157	22,681
未収入金	7,210	7,618
預け金	3,755	3,933
その他	5,769	2,755
貸倒引当金	△7,837	△8,785
流動資産合計	1,446,060	1,447,972
固定資産		
有形固定資産		
建物	304,212	256,065
減価償却累計額	△134,506	△128,179
建物(純額)	169,705	127,885
構築物	85,113	78,334
減価償却累計額	△48,396	△46,353
構築物(純額)	36,717	31,981
機械及び装置	57,278	54,878
減価償却累計額	△28,775	△27,605
機械及び装置(純額)	28,502	27,272
車両運搬具	21,317	16,722
減価償却累計額	△13,288	△12,282
車両運搬具(純額)	8,029	4,440
工具、器具及び備品	272,623	252,477
減価償却累計額	△197,863	△192,208
工具、器具及び備品(純額)	74,760	60,269
リース資産	19,330	19,330
減価償却累計額	△15,599	△15,220
リース資産(純額)	3,730	4,109
有形固定資産合計	321,445	255,959
無形固定資産		
商標権	877	959
ソフトウェア	32,877	34,675
ソフトウェア仮勘定	2,625	2,625
電話加入権	2,531	2,531
リース資産	4,160	4,940
無形固定資産合計	43,071	45,731
投資その他の資産		
出資金	10	10
繰延税金資産	22,940	12,865
敷金及び保証金	185,913	186,547

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
破産更生債権等	—	21,421
長期前払費用	561	738
貸倒引当金	—	△19,323
投資その他の資産合計	209,425	202,260
固定資産合計	573,942	503,951
資産合計	2,020,002	1,951,923
負債の部		
流動負債		
買掛金	157,757	98,904
短期借入金	150,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	259,928	264,848
リース債務	7,177	7,147
未払金	106,722	79,629
未払費用	37,929	32,753
未払法人税等	4,429	82,152
未払消費税等	9,965	22,189
未払配当金	8,142	547
預り金	9,237	4,846
賞与引当金	10,462	17,915
役員賞与引当金	—	1,718
その他	13,918	18,379
流動負債合計	775,670	681,031
固定負債		
長期借入金	407,406	468,698
リース債務	2,419	4,224
長期預り保証金	43,900	44,600
資産除去債務	76,039	—
固定負債合計	529,764	517,522
負債合計	1,305,434	1,198,554
純資産の部		
株主資本		
資本金	268,330	268,330
資本剰余金	287,225	287,225
利益剰余金	263,725	290,873
自己株式	△104,712	△93,059
株主資本合計	714,567	753,369
純資産合計	714,567	753,369
負債純資産合計	2,020,002	1,951,923

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	1,217,416	1,266,242
売上原価	655,663	695,256
売上総利益	561,752	570,986
販売費及び一般管理費	551,790	545,060
営業利益	9,962	25,925
営業外収益		
受取利息	33	0
受取手数料	1,987	2,260
受取保険金	—	119
その他	1,579	1,347
営業外収益合計	3,600	3,727
営業外費用		
支払利息	4,002	3,802
支払手数料	1,000	133
その他	690	110
営業外費用合計	5,692	4,046
経常利益	7,870	25,606
特別利益		
固定資産売却益	—	27
賞与引当金戻入額	738	1,929
貸倒引当金戻入額	—	947
店舗譲渡益	4,154	—
特別利益合計	4,892	2,905
特別損失		
固定資産除却損	—	6
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	34,549
特別損失合計	—	34,556
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	12,763	△6,044
法人税、住民税及び事業税	7,995	2,615
法人税等調整額	521	△1,551
法人税等合計	8,516	1,063
四半期純利益又は四半期純損失(△)	4,246	△7,108

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	12,763	△6,044
減価償却費	14,441	17,053
その他の償却額	6,355	5,170
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,786	△9,171
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	506	△947
受取利息及び受取配当金	△33	△0
支払利息	4,002	3,802
固定資産除却損	—	6
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△27
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	34,549
売上債権の増減額 (△は増加)	△6,805	△16,161
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△44,670	△62,954
その他の資産の増減額 (△は増加)	△44,401	△32,449
仕入債務の増減額 (△は減少)	39,307	59,194
その他の負債の増減額 (△は減少)	45,034	△18,251
小計	22,713	△26,231
利息及び配当金の受取額	33	0
利息の支払額	△3,701	△3,796
法人税等の支払額	△2,393	△65,239
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,651	△95,267
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△9,026	△6,000
有形固定資産の取得による支出	△43,511	△16,867
有形固定資産の売却による収入	—	27
無形固定資産の取得による支出	△1,662	△2,510
敷金及び保証金の差入による支出	△4,800	△116
敷金及び保証金の回収による収入	50	750
投資活動によるキャッシュ・フロー	△58,950	△24,716
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△50,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△58,127	△66,212
自己株式の取得による支出	—	△11,652
配当金の支払額	△8,038	△12,445
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,776	△1,776
財務活動によるキャッシュ・フロー	△117,941	7,913
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△160,240	△112,069
現金及び現金同等物の期首残高	427,963	410,303
現金及び現金同等物の四半期末残高	267,723	298,233

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 生産、受注及び販売の状況

## (1) 生産実績

該当事項はありません。

## (2) 受注状況

当社は一般顧客（最終消費者）を対象とした店頭販売であるため、記載を省略いたします。

## (3) 仕入の状況

中古カー用品等の販売事業における商品分類別仕入実績

商品分類別	当第1四半期会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)		
	仕入高 (千円)	構成比 (%)	前年同期比 (%)
タイヤ・アルミホイール	290,410	41.0	114.4
カーオーディオ カーエレクトロニクス	161,670	22.8	99.1
カースポーツ用品	135,222	19.1	93.8
その他のカー用品	120,961	17.1	117.5
合計	708,264	100.0	106.7

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. 金額は仕入価格によっております。

## (4) 販売実績

## ① 商品分類別販売実績

商品分類別	当第1四半期会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)			
	売上高 (千円)	構成比 (%)	前年同期比 (%)	
タイヤ・アルミホイール	404,873	32.0	104.5	
カーオーディオ カーエレクトロニクス	208,104	16.4	91.4	
カースポーツ用品	199,276	15.7	100.6	
その他のカー用品	309,977	24.5	116.5	
小計	1,122,232	88.6	104.0	
フランチャイズ収入	ロイヤリティー収入	66,019	5.2	112.0
	その他の収入	77,990	6.2	98.6
	小計	144,010	11.4	104.3
合計	1,266,242	100.0	104.0	

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。